

呼称・通称

武甲酒造の水

住所

秩父市宮側町 2 1 - 2 7



武甲酒造は200年以上前から酒造りを続ける老舗で、中には武甲山伏流水が湧き出す井戸があります。

営業時間内は内井戸を開放しており、容器を持参すれば誰でも汲めるよう整備されています。1年中水温が一定している井戸水は、季節を問わず多くの方が汲みに来ています。

歴史ある名水として大切に守られてきた井戸は、平成7年に起きた阪神淡路大震災の教訓から、秩父市と平成9年に協定を結び、緊急時の飲料水確保のための防災井戸に指定され、万が一に備えた協力体制を整えています。

呼称・通称

今宮神社

住所

秩父市中町16-10

武甲山伏流水が湧き出ている秩父最古の泉「龍神池」と、推定樹齢千年以上、樹周約9mの大樫「龍神木」があります。「龍神池」は龍神様が住むと信じられており、秩父今宮神社には、そんな龍神様の恋人ともいわれる弁財天も境内に祀られています。



また、お清めの霊水としても珍重される武甲山伏流水は、境内の「清龍の滝」で汲むことができます。

呼称・通称

妙見七ツ井戸

住所

秩父市下宮地内



秩父夜祭で有名な団子坂は、荒川が削った河成段丘です。

この坂は、秩父市役所のある面と、古くからの街並みがある面とを結ぶ段丘崖です。段丘崖の下には湧き水があり、かつてこの付近から地蔵川が流れ出していて、秩父神社の脇を通り、けやき公園（札所17番定林寺付近）まで流れていました。

秩父神社の鎖につながれた左甚五郎作と言われる龍は、途中にあった天が池で暴れていた龍だという言い伝えもあります。

この段丘崖を北にたどると、崖沿いに妙見七ツ井戸と言われる湧き水が点々と連なっています。

夏は冷たく、冬は温かいのが特徴で野菜など洗うためにだけ利用されているようです。

あれ？何も書いてない!?

—秩父神社「水占みくじ」—

秩父神社にはちょっと変わったおみくじがあります。

自分の好きな色の巻紙を選び、開けてみると、「恋愛運?」あれ?何も書かれていない!?

安心してください!境内にある武甲山伏流水に紙を浸すと、あら不思議!文字が浮かび上がってきました。

みなさんも一度占ってみてはいかがでしょうか?

